

—後記—

本号は林是幹教授の古稀記念号として発刊することになり、学外からも玉稿を多数およせいただきました。ご執筆の各位に篤くお礼を申し上げると同時に、林是幹先生には今後益々円熟を加えられ、ご健勝にて化導を成弁下さいますようお願いいたします。

又里見泰穂教授も、同じく古稀を迎えられましたが、次号は里見学頭先生の古稀記念号として発行される予定になっております。ご期待下さい。

昨年の秋は、三年に一度の同窓会大会が開かれ、更に日蓮宗教学研究発表大会の当番校として、多数の研究発表がありましたので、本号にはその折りのレジュメを収めました。

明年は宗祖の第七百遠忌を迎えることとなります。宗門の益々の発展を期する上からも、本学園の存在意義はいよいよ甚大となって来ます。宗祖入山当初よりの伝統を持つ本学園は、「本化の僧風」を伝えつつ、「行学の二道」をひたすら歩み続けて、幾多の人材を輩出して来りました。

今後も伝統の中にあつて、新しい時代への努力を積み

重ねて行くわけですが、各位のご支援がなくては円成しません。ご協力を切にお願ひ致します。

(上田・記)

「棲神」五十二号

昭和五十五年三月二十五日 印刷

昭和五十五年三月三十日 発行

編集兼 里 見 泰 穂
発行者

印刷者 宮 田 如 龍

印刷所 甲府市中央二丁目十二―三十一
大 宣 堂 印 刷

山梨県身延山東谷

(☎NO、四〇九―二五)

発行所 身延山短期大学学会

振替(甲府) 一二七五番
電話身延(☎美交) 二一〇一〇七